

他条文により確認

【月例等】との差

【定事検/月例等】との差異

東京電力

柏崎刈羽7号炉

保安規定 条文	保安規定 条文名称	保安規定(サーベイランス、運転上の制限)	実条件性能 (許認可要求事項)	定期事業者検査等名 称	定期事業者検査等での判定基準	月例等定期試験名称	月例等試験の判定基準(チェックシート等での記載内容)	「実条件性能確認」適合の考え方	
								実条件性能確認との差異【定事検】【月例等】	実条件性能確認評価/ブレコン
27条	表27-2-5-6-B 中央制御室外原子炉停止装置計装	<p>(1)運転上の制限 中央制御室外原子炉停止装置計装が動作可能であること</p> <p>(2)確認事項 1. 原子炉圧力 チャンネル校正及び制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 計測制御GM 2. 高圧炉心注水系流量 チャンネル校正及び制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 計測制御GM 3. 残留熱除去系流量 チャンネル校正及び制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 計測制御GM 4. 原子炉水位 チャンネル校正及び制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 計測制御GM 5. サプレッションプール水温度 チャンネル校正及び制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 計測制御GM 6. RHR熱交換器入口温度 チャンネル校正及び制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 計測制御GM 7. 高圧炉心注水系ポンプ(高圧炉心注水系制御) 制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 電気機器GM 中央制御室外原子炉停止装置からの高圧炉心注水系ポンプ起動試験により動作可能であることを確認する。 定事検停止時 当直長 8. 残留熱除去ポンプ(残留熱除去系制御) 制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 電気機器GM 中央制御室外原子炉停止装置からの残留熱除去系ポンプ起動試験により動作可能であることを確認する。 定事検停止時 当直長 9. 主蒸気逃がし安全弁(主蒸気逃がし安全弁制御) 制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 電気機器GM 中央制御室外原子炉停止装置からの主蒸気逃がし安全弁閉鎖試験により動作可能であることを確認する。 定事検停止時 当直長 10. 原子炉補機冷却水ポンプ(原子炉補機冷却水制御) 制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 電気機器GM 中央制御室外原子炉停止装置からの原子炉補機冷却水ポンプ起動試験により動作可能であることを確認する。 定事検停止時 当直長 11. 原子炉補機冷却海水ポンプ(原子炉補機冷却海水制御) 制御回路切替スイッチの機能検査を実施する。定事検停止時 電気機器GM 中央制御室外原子炉停止装置からの原子炉補機冷却海水ポンプ起動試験により動作可能であることを確認する。 定事検停止時 当直長</p>	<p>【設置許可本文】 発電用原子炉施設には、火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、発電用原子炉を高温停止の状態に直ちに移行させ、及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、発電用原子炉を安全な低温停止の状態に移行させ、及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する装置を設ける設計とする。</p>	<p>安全保護系検出器要素性能(校正)検査</p> <p>安全保護系検出器要素性能(校正)検査 ・制御回路切替スイッチを切替え(中操⇒RSS)、試験装置を用いて各検出要素の動作に必要な模擬入力を与え、その時の指示値を確認する。 ・定期事業者検査成績書の判定基準を満足すること。</p>	<p>遠隔停止系機能検査 ・制御回路切替スイッチを切替え(中操⇒RSS)、各機器の操作スイッチを操作し、各機器が動作することを表示等により確認する。 ・定期事業者検査成績書の判定基準を満足すること。</p>	<p>【巡視点検】 (1日/回)</p>	<p>【巡視点検】 (1日/回)</p>	<p>実条件性能確認との差異【定事検】【月例等】</p> <p>ORSSへの制御回路切替【月例等】 下記の通り、原子炉運転中に実施することは原子力安全上困難と考える。 ・RSS側への制御回路切替は、中央制御室からの操作除外による機能要求時の対応遅れの可能性及び自動起動信号除外による安全機能の喪失。</p> <p>ORSSへの制御回路切替【月例等】 下記の通り、原子炉運転中に実施することは原子力安全上困難と考える。 ・RSS側への制御回路切替は、中央制御室からの操作除外による機能要求時の対応遅れの可能性及び自動起動信号除外による安全機能の喪失。</p>	<p>実条件性能確認評価/ブレコン</p> <p>左記確認を原子炉運転中に実施することは困難であることから実条件性能確認に対しては下記の通り。</p> <p>【定事検】 ・原子炉停止時に実施する定事検において制御回路切替スイッチを切替え(中操⇒RSS)、模擬入力を与え、その時の指示値を確認し判定基準を満足することを確認している。 ・制御回路切替スイッチを切替え(中操⇒RSS)、各機器の操作スイッチを操作し、各機器が動作することを表示等により確認し判定基準を満足することを確認している。</p> <p>【日常管理】 ・RSS側への制御切替は、中央制御室からの操作除外や自動起動信号除外による安全機能の喪失を招くことから通常運転中の「実条件性能確認」は監視により担保している。なお、RSSからの実動作試験(HPCFポンプ、RHRポンプ、SRV、RCWポンプ、RSWポンプ)は、定事検停止時に定例試験により確認している。</p> <p>以上の組み合わせにより実条件性能を確認していると整理する。</p>